

三瓶山の自然 V

室の内の植生 (3)

西上一義* 丸山 巖**

(1972.9.30受理)

Natural environments of Mt. Sambe V
Vegetation in the Muronouchi crater (3)

Kazuyoshi NISHIGAMI Iwao MARUYAMA

Abstract

A vegetational analysis was made in the southern parts of the Muronouchi crater of Mt. Sambe. The vegetation of *Fagus crenata*, *Fagus japonica* and *Acer carpiniifolium* was newly found on this investigation. This vegetated area is characterized by lies near the fumarole so called "Tori-zigoku", and also by little superficial deposits and much boulder gravel deposits. The vegetational pattern of (*Quercus crispula*—*Sasa Veichii* var, *hirsuta*) was observed on the slanting areas covered with superficial deposits. Other vegetational patterns were observed at the same slanting areas covered with boulder gravel deposits. These are the patterns of (*Fagus crenata*—*Carex Morrowii*), (*Fagus japonica*—*Carex Morrowii*), (*Carpinus carpinoides*—*Carex Morrowii*) and (*Acer pictum*—*Carex Morrowii*). At the bottom of the crater, different vegetations were seen. These are vegetational patterns of (*Quercus dentata*—plants of *Graminae*) and (*Pinus Thunbergii*—plants of *Graminae*) at the upper part of the bottom. At the lower part of the bottom, vegetations of tree or shrub layers were not seen but only a herb layer. These may have been caused by acidified soil from fumaroles in this area.

I はじめに

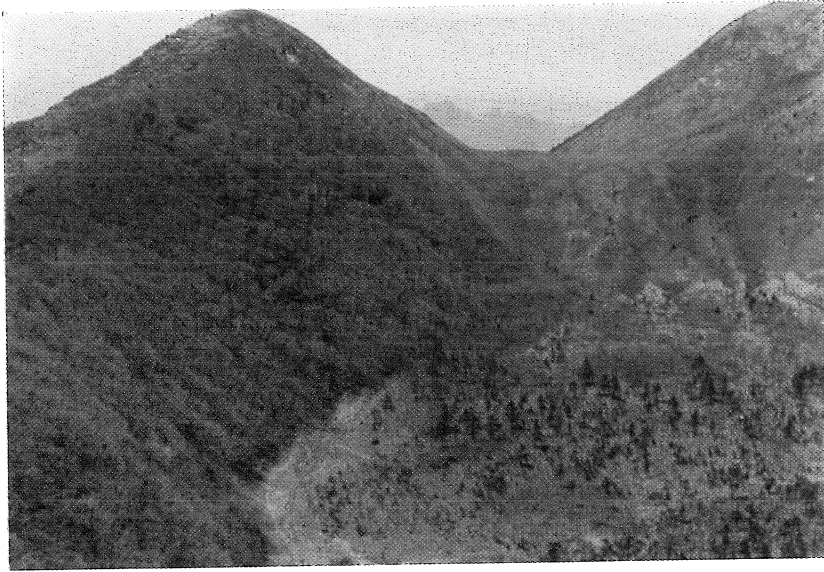
三瓶山^{むらうち} 室の内クレイター南部の斜面は、おおむねミズナラを優占種とする高木層によって覆われている。1972年5月のはじめ、新芽がまだ出ない灰色のミズナラ群落の中に混って、鮮緑色と赤褐色の若葉がすでに出揃った別の樹木の群落があることを遠方より認めた(第1図)。その樹種と分布を確かめるための調査をしたのでここに報告する。

II 調査方法

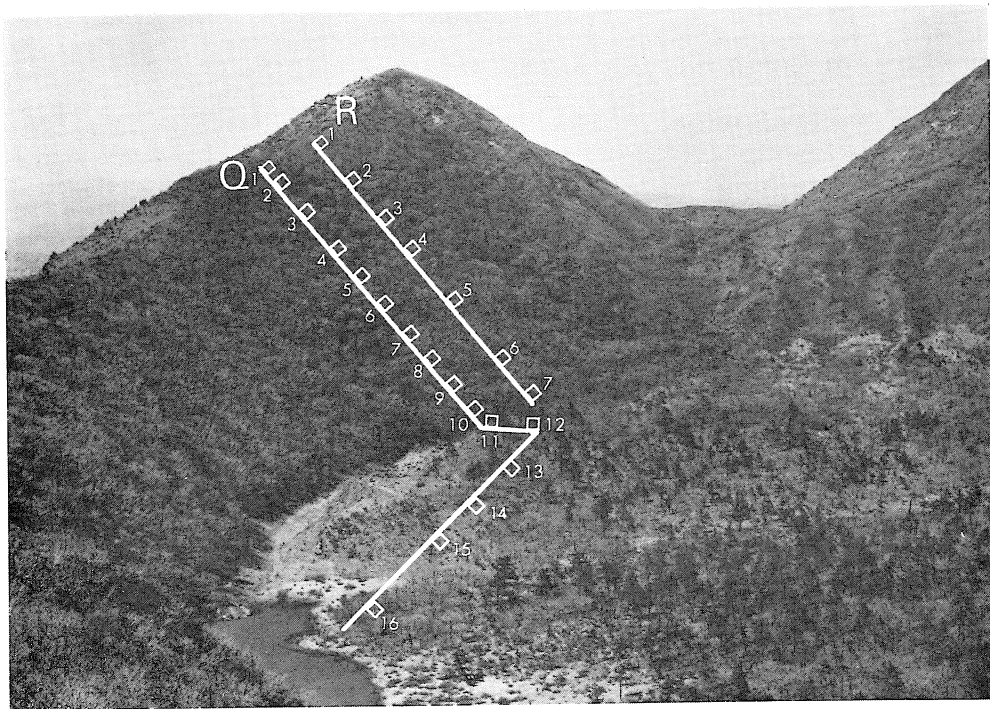
孫三瓶山(880m)東方の稜線、標高約850mの地点QおよびRより、クレイター底部に向っ

* 島根大学文理学部生物学教室

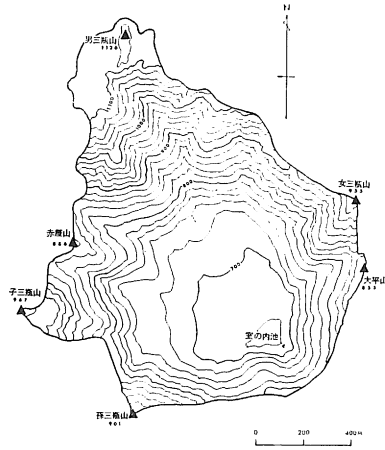
**島根県文化財専門委員



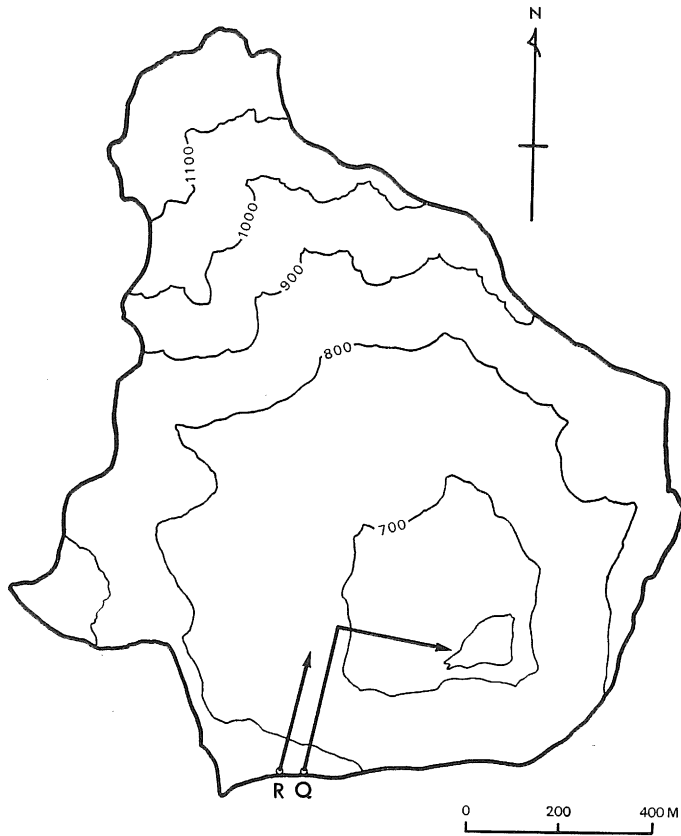
第1図 三瓶山 室の内クレイター南部の相観 (’72.5.6)



第2図 コドラート法による植生調査地域



第3図 室の内地形図



第4図 コドラート法による植生調査地点 (Q-R)

てコドラートを設定し（第2～4図），前報と同様にブラウン・ブランケの全標価法によって各植物の出現度階級を求めた。

調査期日 Q地区……1972年5月6日

R地区……1972年5月6日

III 結果ならびに考察

調査の結果，QおよびR地区の調査地点の位置と各階層の優占種の出現は第5図，第1表および第2表のようになった。

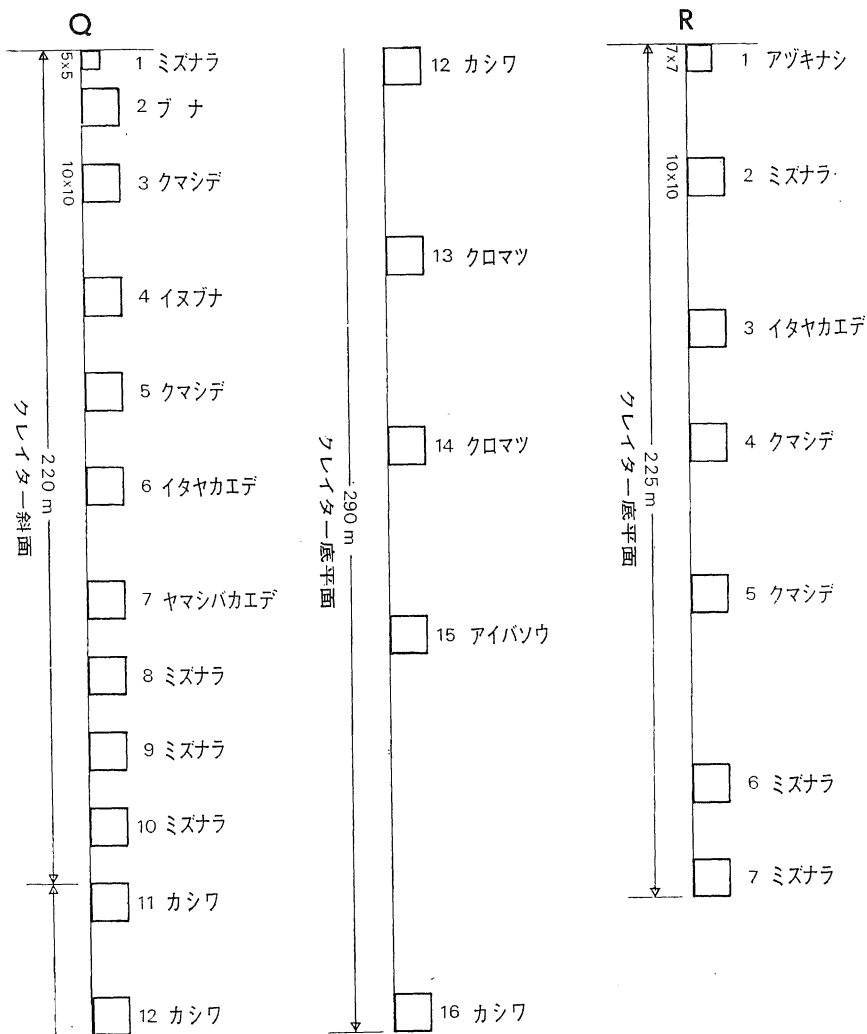
Q地区の No. 1 地点は孫三瓶山より大平山に向う稜線上にあり，高木層が欠除している。これは水分供給量が少いことをもっとも主要な原因とすると考えられる。樹冠は亜高木層のミズナラによって形成される，林床にはチュウゴクザサが生育するが，これは No. 2～No. 6 のカンスゲの生育と著しい対比を見せている。No. 1 と No. 8, 9, 10 ではミズナラ——チュウゴクザサのパターンが見られるが，この型になるためには少くとも林床に表土が存在することが必要条件と考えられる。これに対して，No. 2～No. 7 では林床に表土がなく，礫質の堆積物の間から植物は根をおろしている。この区域ではミズナラ——チュウゴクザサ林は発達せず，上部区域でブナ，次いでクマシデ，イヌブナが樹冠を形成し，下部区域ではイタヤカエデが樹冠を形成している。No. 7 地点は礫質堆積層が特に厚いのであろうか。特殊な環境下にあるらしく高木層が存在しない。優占種はヤマシバカエデであった。この地点で発見されたヤマシバカエデは特異な樹形をしており，谷側に匍匐して下り傾斜の幹を伸ばしていた。匍匐形となったのは雪崩のためであろうと考えられる（図版IIのD）。

室内クレター斜面の No. 1～No. 10 が，ブナ，クマシデ，イタヤカエデ，ミズナラによって樹冠を形成し，林床はカンスゲ，チュウゴクザサに占められていたのに対して，クレイター底部平面の No. 11～No. 16 は著しい相違を示した。すなわち，樹冠は一変して，カシワ，クロマツの混交林によって形成される。鳥地獄の下手および室内池に近い低地では，樹木の生育がかなり阻害され，クロマツの幼樹は数年の生育の後，立ち枯れてその姿を散在させている。従ってこの区域ではアイバソウ・ススキ・ヌカボシソウが優占種となっている。これは鳥地獄一帯から噴出する物質（恐らく炭酸であろうと思われる）により土壌が酸性化しているためと考えられる。この調査区域に生育する代表的な植物を耐酸性という点で比較してみると

アイバソウ>ススキ>カシワ \geq クロマツ>ミズナラ

という結果となる。

R地区で見られた植生はQ地区と全く同じ傾向であった。即ち上部と下部の表土のある地点では，〔ミズナラ——チュウゴクザサ〕の型，中間部の表土の見られない地点では〔イタヤカエデ——カンスゲ〕，〔クマシデ——カンスゲ〕の型が見られた。



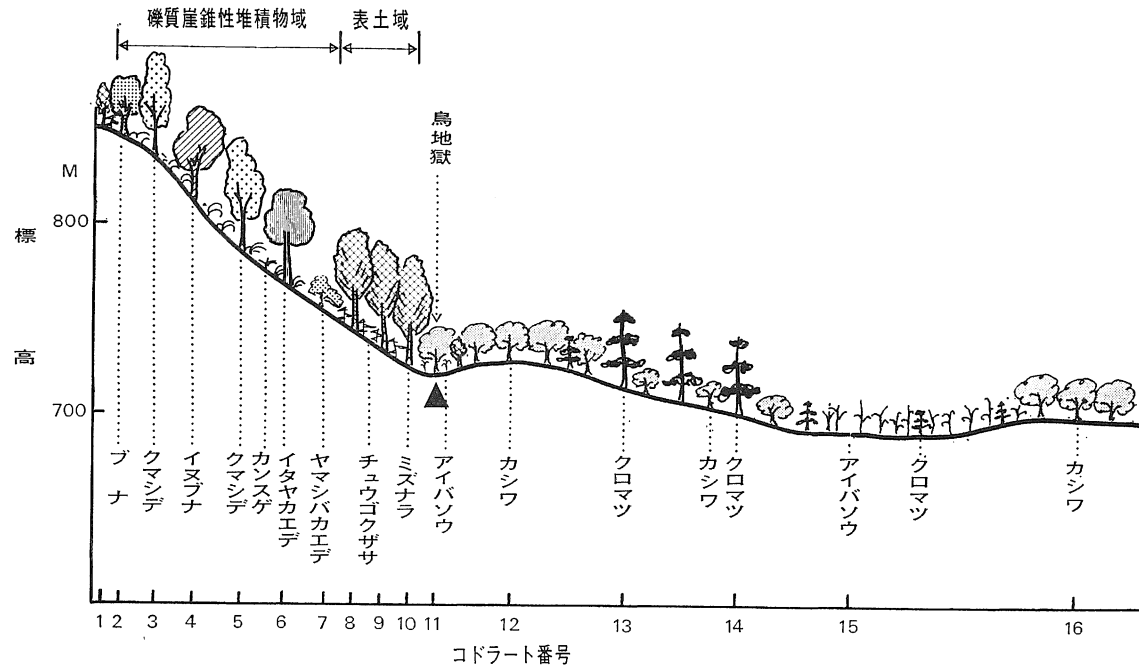
第5図 調査コドラートの位置および大きさとその優占種

第1表 Q 地区の各階層の優占種

コドラート No.	優 占 種				
	高 木 層	亜 高 木 層	低 木 層	草 本 層	
ク レ イ タ ー 斜 面	1		ミズナラ	コバノ ミツバツツジ	チュウゴクザサ
	2	ブ ナ	リョウブ	コバノ ミツバツツジ	カンスゲ
	3	クマシデ	イヌブナ	クロモジ	カンスゲ
	4	イヌブナ	イヌブナ	リョウブ	カンスゲ
	5	クマシデ	クマシデ	ミヤマハウソ	カンスゲ
	6	イタヤカエデ	ニワトコ	クロモジ	カンスゲ
	7		ヤマシバカエデ	ミヤマガマズミ	ジュウモンジシダ
	8	ミズナラ	アズキナシ	ツリバナ	チュウゴクザサ
	9	ミズナラ	アズキナシ	クロモジ	チュウゴクザサ
	10	ミズナラ	リョウブ	クロモジ	カンスゲ
ク レ イ タ ー 底 平 面	11	カシワ	ウワミズザクラ	ミズナラ	アイバソウ
	12	カシワ	リョウブ	クロマツ	ヌカボシソウ
	13	クロマツ	カシワ	カシワ	ススキ
	14	クロマツ	カシワ	カシワ	チュウゴクザサ
	15			クロマツ	アイバソウ
	16	カシワ	カシワ	アズキナシ	スズメノヒエ

第2表 R 地区の各階層の優占種

コドラート No.	優 占 種				
	高 木 層	亜 高 木 層	低 木 層	草 本 層	
ク レ イ タ ー 斜 面	1		アズキナシ	ミズナラ	チュウゴクザサ
	2	ミズナラ		クロモジ	カンスゲ
	3	イタヤカエデ		クロモジ	カンスゲ
	4	クマシデ		クロモジ	カンスゲ
	5	クマシデ		ミヤマハウソ	カンスゲ
	6	ミズナラ	ツシマナナカマド	ハナイカダ	チュウゴクザサ
	7	ミズナラ	リョウブ	クロモジ	チュウゴクザサ



第6図 Q地域植生調査地点の階層構造模式図

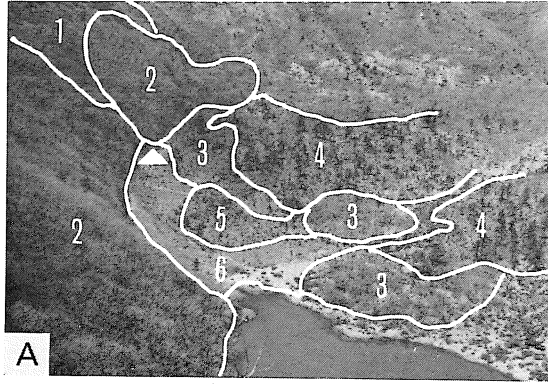
IV 摘 要

1. 前報に引き続き、三瓶山、室の内クレイターの植生調査をおこなった。
2. 従来、男三瓶山北斜面および南斜面にブナの生育することは知られていたが標高のより低い孫三瓶山中腹にもブナが生育することが新に確認された。
3. ブナにまぎって、イヌブナ・イタヤカエデ・ヤマシバカエデの生育することが確かめられた。
4. 孫三瓶山北東斜面では、表土のある地点では〔ミズナラ——チュウゴクザサ〕の型、表土が無く、礫質崖錘性堆積物の地点では〔クマシデ・イヌブナ・イタヤカエデ——カンスゲ〕の型が認められた。
5. 室の内クレイター南部に生育する代表的植物を耐酸性土により比較すると次のようになる。 アイバソウ>ススキ>カシワ \geq クロマツ>ミズナラ

V 文 献

- 丸山 巖 西上一義：三瓶山の自然 II 鳥根大学文理学部紀要 IV 鳥根大学，1971，pp. 164—195
丸山 巖：三瓶山の自然，鳥根県，1971，pp.21—32
西上一義 丸山巖：三瓶山の自然 III 鳥根大学文理学部紀要V，鳥根大学，1972，pp.91—115

図 版 I (A ~ C)



調査地域俯瞰図

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1 ……イタヤカエデ優占群落 | 2 ……ミズナラ優占群落 |
| 3 ……カシワ優占群落 | 4 ……クロマツ優占群落 |
| 5 ……矮性クロマツ優占群落 | 6 ……アイバソウ・ススキ優占群落 |
| ▲ ……鳥地獄 | |



B

ブナ (1地区上部) '72.5.6
若葉が出揃っている。



C

イヌブナ (1地区 上部) '72.5.6
若葉が出揃っている。

図 版 II (D ~ E)



ヤマシバカエデ (1地区中部) '72.5.6
 若葉が出揃っている。
 礫質堆積物の間に根をおろしている。



イタヤカエデ (1地区下部) '72.5.6
 赤褐色の若葉が開いた直後。

図 版 III (F ~ I)



F

ミヅナラ (2地区) '72.5.6
葉は冬芽のまゝ。



G

カシワ (3地区) '72.5.6
葉は冬芽のまゝ。



H

鳥地獄附近 '72.5.6
夏季 アイバソウ・ススキ草原となる。
木本植物は生えない。



I

鳥地獄下流 '72.5.6
夏季 アイバソウ・ススキ草原となる。
木本植物は生えない。

ショウマ・オオカニコウモリ…………… r
 シシガシラ 1
 タニイヌワラビ +
 ゼンマイ・クジャクシダ・ミヤマイタ
 チシダ・サカゲイノデ…………… r
 つる植物：ツタウルシ・イワガラミ…………… r

〔Q〕 No.4 (10m×10m)

高木層：イヌブナ 5 (3)
 ミズナラ 3 (3)
 クマシデ 2 (1)
 亜高木層：イヌブナ 2 (2)
 リョウブ 1 (2)
 クマシデ 1 (1)
 低木層：コアジサイ 1 (18)
 クロモジ 1 (6)
 コバノミツバツツジ 1 (3)
 リョウブ 1 (2)
 マルバアオダモ + (3)
 イタヤメイゲツ + (2)
 ミヤマホウソ + (2)
 ウグイスカグラ + (1)
 ミヤマガマヅミ + (1)
 草本層：コアジサイ 1 (多数)
 アクシバ 1 (12)
 コマユミ + (5)
 ハイイヌガヤ + (3)
 ウツギ + (2)
 コバノガマヅミ + (1)
 イタヤメイゲツ + (1)
 ハイイヌツゲ r (1)
 オトコヨウゾメ r (1)
 カンスゲ 2
 スカボシソウ +
 タニギキョウ +
 オオバショウマ +
 チゴユリ +
 トリアショウマ r
 キクバヤマボクチ r
 チョウゴクザサ r
 シシガシラ +
 トウゲシバ r

〔Q〕 No.5 (10m×10m)

高木層：クマシデ 3 (4)

イヌブナ 3 (1)
 亜高木層：クマシデ 1 (1)
 低木層：ミヤマホウソ 2 (11)
 クロモジ 1 (5)
 ヤブデマリ 1 (4)
 ミヤマガマヅミ + (3)
 ハイイヌガヤ + (3)
 コマユミ + (5)
 エゴノキ r (1)
 ツリバナ r (1)
 ハナイカダ r (1)

草本層：ハイイヌガヤ 1
 ハイアジサイ +
 ヤナギイボタ +
 ウリノキ +
 アクシバ +
 リョウブ r
 カマツカ r
 ウグイスカグラ r
 ウリハダカエデ r
 カンスゲ 2
 スカボシソウ +
 チャルメルソウ +
 トリアシショウマ +
 モミジガサ +
 ニシノホンモンジスゲ +
 オオバショウマ・キバナアキギリ・ヒ

ナスミレ…………… r

ジュウモンジシダ +
 サカゲイノデ・クジャクシダ・ワラビ
 ・タニイヌワラビ…………… r
 つる植物：ツタウルシ・マツブサ…………… r

〔Q〕 No.6 (10m×10m)

高木層：イタヤカエデ 5 (1)
 クマシデ 3 (1)
 亜高木層：ニワトコ 1 (1)
 キブシ 1 (1)
 リョウブ 1 (1)
 低木層：ハナイカダ 1 (8)
 クロモジ 1 (3)
 ヤナギイボタ + (4)
 カマツカ + (2)
 ウグイスカグラ + (2)

	ハイイヌガヤ	+	(1)
	タンナサワフタギ	+	(1)
	ヤマボウシ	r	(1)
草本層:	ハイアジサイ	+	(4)
	ヤナギイボタ	+	(4)
	ウリノキ	+	(3)
	エゴノキ	r	(2)
	カンスゲ	2	
	ニシノホンヅスゲ	+	
	ヌカボシソウ	+	
	タニギキョウ	+	
	タニイヌワラビ・ジュウモンジシダ・		
	イヌワラビの1種…………… r		
つる植物:	ギョウジャノミズ	+	
	サルナシ	+	
	ツルデマリ	+	
[Q] No.7 (10m×10m)	転石多く植物の生育		
	少ない		
亜高木層:	ヤマシバカエデ	5	(7)
低木層:	ミヤマガマヅミ	+	(1)
草本層:	ハイイヌツゲ	1	
	ヤナギイボタ	r	
	チャルメルソウ	+	
	タニギキョウ	+	
	ジュウモンジシダ	1	
	リュウメンシダ	+	
	サカゲイノデ	+	
つる植物:	イワガラミ	+	
	ツルデマリ	+	
	サルナシ	+	
[Q] No.8 (10m×10m)			
高木層:	ミズナラ	5	(6)
	イタヤカエデ	3	(1)
亜高木層:	アズキナシ	1	(1)
低木層:	ツリバナ	1	(3)
	キブシ	1	(1)
	ウリノキ	+	(3)
	ウツギ	+	(2)
	ヤブデマリ	+	(1)
	コマユミ	r	(2)
	ツノハシバミ	r	(1)
	ミヤマガマヅミ	r	(1)
草本層:	ヤナギイボタ	+	

	ハイアジサイ	+	
	チュウゴクザサ	5	
	カンスゲ	1	
	ヤマシロギク	+	
	ヤマシヤクヤク・キバナアキギリ		
	…………… r		
	サカゲイノデ・ジュウモンジシダ・		
	シシガシラ…………… r		
つる植物:	サルナシ		(2)
[Q] No.9 (10m×10m)			
高木層:	ミズナラ	5	(5)
	リュウブ	2	(1)
亜高木層:	アズキナシ	1	(1)
	ツリバナ	1	(1)
低木層:	クロモジ	2	(7)
	イタヤメイゲツ	1	(4)
	ハナイカダ	+	(6)
	ミヤマガマヅミ	+	(2)
	ウツギ	+	(1)
	ツリバナ	+	(1)
	エゴノキ	+	(1)
	ダンコウバイ	+	(1)
	タンナサワフタギ	+	(1)
	ツノハシバミ	+	(1)
草本層:	イタヤメイゲツ	+	(7)
	ハナイカダ	+	(6)
	ハイイヌガヤ	+	(2)
	ツシマナナカマド	+	(1)
	ハイアジサイ	+	(1)
	チュウゴクザサ	2	
	キバナアキギリ	1	
	サラシナショウマ	1	
	ヤマシロギク	1	
	サンインスマレサイシシ	+	
	オオカニコウモリ	+	
	キクバヤマボクチ	+	
	アキチョウジ	+	
	ノギラン	+	
	カンスゲ	+	
	ヤマブキショウマ・ヤマジノホトトギ		
	ス・チゴユリ…………… r		
	シシガシラ	1	
	ゼンマイ	1	
つる植物:	イワガラミ	+	

〔Q〕 No.10 (10m×10m)

高木層：ミズナラ	5	(10)
リョウブ	1	(1)
亜高木層：リョウブ	1	(1)
低木層：イタヤメイゲツ	1	(10)
リョウブ	1	(6)
クロモジ	1	(6)
ハナイカダ	+	(3)
コマユミ	+	(3)
ウワミズザクラ	+	(3)
ハイイタガヤ	+	(2)
ウグイスカグラ	+	(2)
ツリバナ	+	(2)
ツノハシバミ	+	(2)
イタヤカエデ	+	(2)
ミヤマガマズミ	+	(1)
ダンコウバイ	+	(1)
コバノミツバツツジ	+	(1)
タンナサワフタギ	r	(1)
草本層：ハイイヌツゲ	1	(多数)
ミズナラ	1	(多数)
イタヤメイゲツ	1	(14)
ウツギ	+	(4)
クロモジ	+	(3)
アクシバ	+	(2)
ヤナギイボタ	+	(1)
ウグイスカグラ	+	(1)
ヤマツツジ	r	(1)
トリアシシヨウマ	r	(1)
カンスゲ	1	
ヌカボシソウ	+	
キクバヤマボクチ	+	
チゴユリ	+	
サンインスマレサイシン	+	
ミヤマカタバミ・アキチヨウジ・ヤマ		
シヤクヤク・ミズヒキグサ…………… r		
シシガシラ	1	
サカゲイノデ	+	
オシダ	+	
ゼンマイ	+	
つる植物：ツルデマリ	+	
イワガラミ	+	
ツタウルシ	+	

〔Q〕 No.11 (10m×10m)

高木層：カシワ	3	(5)
クロマツ	2	(2)
クリ	2	(1)
ミズナラ	1	(1)
亜高木層：ウワミズザクラ	1	(3)
イタヤメイゲツ	1	(2)
カシワ	1	(1)
カスミザクラ	1	(1)
ミズナラ	1	(1)
ズミ	+	(1)
低木層：ミズナラ	1	(10)
リョウブ	1	(2)
ツシマナナカマド	+	(8)
クマシデ	+	(3)
アズキナシ	+	(3)
イタヤメイゲツ	+	(2)
イタヤカエデ	+	(2)
ヤナギイボタ	+	(1)
コバノミツバツツジ	+	(1)
ヤマツツジ	+	(1)
ミヤコイバラ	+	(1)
クリ	+	(1)
草本層：ミズナラ	+	(多数)
イタヤカエデ	+	(6)
ツシマナナカマド	+	(5)
イタヤメイゲツ	+	(5)
アカシデ	r	(1)
レンゲツツジ	r	(1)
アイバソウ	+	
スゲの一種	+	
チゴユリ・ミズヒキグサ…………… r		
ゼンマイ	+	
シシガシラ	r	
つる植物：ツタウルシ	+	
イワガラミ	+	

〔Q〕 No.12 (10m×10m)

高木層：カシワ	5	(6)
クリ	2	(1)
亜高木層：リョウブ	2	(5)
イタヤメイゲツ	2	(1)
ウワミズザクラ	1	(1)
低木層：クロマツ	2	(1)
リョウブ	1	(8)

イタヤメイゲツ	1	(4)
ヤマツツジ	1	(4)
コバノミツバツツジ	1	(1)
ハイイヌツゲ	1	(1)
ウツギ	+	(3)
イタヤカエデ	+	(2)
ツシマナナカマド	+	(1)
アカマツ	+	(1)
クリ	+	(1)
イタヤメイゲツ	r	(1)
草 本 層: リョウブ	1	(6)
アオハダ	+	(1)
カスミザクラ	+	(1)
アカマツ	r	(1)
ウツギ	r	(1)
ハイイヌツゲ	r	(1)
ヌカボシソウ	+	
アイバソウ	+	
ウルシ	+	
ヤマジノホトトギス	+	
シハイスミレ・アキノキリンソウ・		
ススキ・ササユリ・ニガナ・ヤマブキシヨウマ・キ		
ジムシロ・スズメノヒエ…………… r		
シシガシラ	+	
ワラビ	r	
つる植物: イワガラミ	1	
〔Q〕 No.13 (10m×10m)		
高 木 層: クロマツ	1	(1)
亜高木層: カシワ	3	(9)
クロマツ	1	(1)
アカマツ	1	(1)
低 木 層: カシワ	2	(7)
クロマツ	1	(6)
レンゲツツジ	+	(5)
ガマズミ	+	(4)
カスミザクラ	+	(2)
クリ	+	(2)
コバノミツバツツジ	+	(1)
草 本 層: クロマツ	1	(6)
ダイセンヤナギ	r	(1)
ススキ	3	
アイバソウ	+	
アキノキリンソウ	+	
シハイスミレ	+	

タチツボスミレ	+	
イチヤクソウ	+	
アレノノギク・ミツバツチグリ		
…………… r		
ワラビ	1	
〔Q〕 No.14 (10m×10m)		
高 木 層: クロマツ	2	(1)
亜高木層: カシワ	3	(6)
イヌシデ	1	(1)
低 木 層: カシワ	3	(8)
ヤマツツジ	2	(12)
ツシマナナカマド	+	(2)
ネジキ	+	(1)
リョウブ	+	(1)
ガマズミ	+	(1)
ウワミズザクラ	r	(1)
草 本 層: ヤマツツジ	1	(多数)
クロマツ	1	(14)
ツシマナナカマド	+	(4)
ハイイヌツゲ	r	(1)
イヌシデ	r	(1)
チュウゴクザサ	4	
ホタルザサ	+	
ニガナ	+	
ミツバツチグリ	+	
シハイスミレ	+	
キジムシロ・アキノキリンソウ・		
コナスビ・スゲの1種…………… r		
ワラビ	1	
〔Q〕 No.15 (10m×10m)		
低 木 層: クロマツ	2	(12)
クヌギ	2	(7)
ヤマナラシ	1	(12)
カシワ	1	(3)
草 本 層: ヤマナラシ	1	(多数)
クロマツ	+	(3)
カシワ	+	(2)
クヌギ	r	(1)
アイバソウ	3	
ススキ	3	
トダシバ	2	
リンドウ	r	

[R] No.1 (7m×7m)

亜高木層：アズキナシ	3	(1)
タンナサワフタギ	1	(1)
ミズナラ	1	(1)
低木層：ミズナラ	3	(5)
ホツツジ	2	(17)
コアジサイ	1	(4)
タンナサワフタギ	1	(3)
ナツハゼ	1	(3)
ハナイカダ	+	(5)
クロモジ	+	(3)
ダイセンヤナギ	+	(3)
ナツハゼ	+	(3)
ウツギ	+	(2)
ミヤマガマズミ	+	(2)
ツリバナ	+	(1)
ヤマウルシ	r	(1)
草本層：アクシバ	1	(11)
ナツハゼ	+	(10)
リョウブ	+	(4)
ヤマツツジ	+	(4)
ミヤマガマズミ	+	(3)
ウツギ	+	(2)
アカシデ・コアジサイ・イタヤカエデ	 r
チュウゴクザサ	1	
ヌカボシソウ	+	
オオカニコウモリ	+	
リュウノウギク	+	
チゴユリ・トリアシショウマ・ヤマジ		
ノホトトギス・キクヤマボクチ・カンスゲ・ニシノ		
ホンモンジスゲ..... r		
ゼンマイ	+	
シシガシラ	+	
トウゲシバ	r	
つる植物：イワガラミ	+	
サルトリイバラ・ミツバアケビ	 r

[R] No.2 (10m×10m)

高木層：ミズナラ	5	(2)
イタヤカエデ	3	(2)
クマシデ	3	(1)
エゴノキ	2	(1)
亜高木層：なし		

低木層：クロモジ	3	(20)
コバノミツバツツジ	1	(4)
コアジサイ	+	(16)
ツリバナ	+	(3)
ミヤマガマズミ	+	(3)
ホツツジ	+	(1)
ヤナギイボタ	r	(1)
ツシマナナカマド	r	(1)
ミヤマハウソ	r	(1)
草本層：アクシバ	+	(7)
リョウブ	+	(4)
ツノハシバミ	+	(3)
ハナイカダ	+	(1)
ハイアジサイ	r	(2)
ウリハダカエデ	r	(1)
コマユミ	r	(1)
カンスゲ	3	
ミヤコアオイ	+	
ハイイヌガヤ	+	
トリアシショウマ	+	
チゴユリ	+	
ヤマジノホトトギス・サラシナショウ		
マ・ミヤマカタバミ・アキノキリンソウ	 r
シシガシラ	+	
ヤマソテツ・イヌワラビの1種	 r
つる植物：ツルデマリ	+	
ツタウルシ	+	
イワガラミ	r	

[R] No.3 (10m×10m)

高木層：クマシデ	3	(2)
イタヤカエデ	3	(1)
ヤマシバカエデ		
亜高木層：なし		
低木層：ハナイカダ	1	(20)
クロモジ	1	(15)
ヤナギイボタ	1	(14)
ハイイヌガヤ	+	(8)
ミヤマハウソ	+	(4)
ツリバナ	+	(4)
ミヤマガマズミ	+	(2)
ヤブデマリ	+	(2)
イタヤメイゲツ	+	(1)

リョウブ	+	(1)
ウツギ	r	(1)
コマユミ	r	(1)
草 本 層: ハイイヌガヤ	1	(多数)
ハイアジサイ	1	
クロモジ	+	
ヤナギイボタ	+	
カンスゲ	3	
チュウゴクザサ	+	
タニギキョウ・ヤマシロギク……… r		
シシガシラ	+	
ミゾシダ・ヤマソテツ・イヌワラビの 1種……… r		
つる植物: イワガラミ・ツルデマリ……… r		

〔R〕 No.4 (10m×10m)

高 木 層: クマシデ	4	(3)
イタヤカエデ	3	(1)
ミズナラ	2	(1)
ホウノキ	2	(1)
亜高木層: なし		
低 木 層: クロモジ	3	(48)
ミヤマホウソ	1	(13)
ハイイヌガヤ	+	(6)
ツリバナ	+	(3)
ツノハシバミ	+	(1)
ミヤマガマツミ	r	(1)
マルバアオダモ	r	(1)
ヤブデマリ	r	(1)
草 本 層: ハイイヌガヤ	1	(33)
ハイアジサイ	1	(19)
ヤブコウジ	1	(10)
クロモジ	+	(15)
ハイイヌツゲ	+	(10)
コアジサイ	r	(1)
ツリバナ	r	(1)
カンスゲ	3	
チュウゴクザサ	1	
ヤマジノホトトギス	+	
キバナアキギリ	+	
オオカニコウモリ	+	
トチバニンジン	+	
サンインスマレサイシン	+	
トゲナシアザミ・ミヤマカタバミ・ トリアシショウマ・テンナンショウの一種……… r		

ミゾシダ	+
ヤマソテツ	+
サカゲイノデ	r
つる植物: ハンショウヅル	r

〔R〕 No.5 (10m×10m)

高 木 層: クマシデ	3	(2)
ミズナラ	2	(2)
ミズキ	2	(1)
エゴノキ	2	(1)
亜高木層: なし		
低 木 層: ミヤマホウソ	2	(14)
ハイアジサイ	1	(20)
クロモシ	1	(17)
ハナイカダ	1	(12)
ツノハシバミ	+	(2)
ツリバナ	+	(1)
ヤナギイボタ	r	(1)
草 本 層: ハイアジサイ	+	(24)
クロモジ	+	(7)
イタヤメイゲツ	r	(1)
エゴノキ	r	(1)
ヤナギイボタ	r	(1)
ウツギ	r	(1)
カンスゲ	2	
キバナアキギリ	+	
ミツバツチグリ	+	
サンインスマレサイシン	+	
オオカニコウモリ	+	
トリアシショウマ	+	
ヤマシャクヤク	+	
クルマバソウ	+	
ホウチャクソウ	+	
ミヤマカタバミ	+	
サラシナショウマ	+	
モミジガサ	+	
キバナアキギリ	+	
オオバショウマ	+	
トゲナシアザミ・アキノキリンソウ・ サワハコベ・エンレイソウ・チャルメルソウ・テン ナンショウの1種……… r		
リョウメンシダ・ジュウモンジシダ ……… r		
つる植物: ツルデマリ	+	

〔R〕 No.6 (10m×10m)

高木層：ミズナラ	5	(3)
イタヤカエデ	3	(1)
亜高木層：ツシマナナカマド	2	(1)
クマシデ	2	(1)
アズキナシ	1	(1)
低木層：ハナイカダ	2	(24)
クロモジ	1	(17)
ハイイヌガヤ	1	(8)
ツリバナ	1	(8)
ヤナギイボタ	+	(4)
ガミズミ	+	(2)
ミヤマホウソ	+	(1)
草本層：ハナイカダ	1	(15)
ハイイヌガヤ	+	(25)
クロモジ	+	(23)
ハイアジサイ	+	(6)
イタヤメイゲツ	+	(3)
ウゲイスカグラ	+	(2)
カマツカ	+	(1)
ダンコウバイ	r	(2)
ウリハダカエデ	r	(1)
ウリノキ	r	(1)
コマユミ	r	(1)
チュウゴクザサ	2	
ヤマシャクヤク	+	
オシダ	+	
つる植物：イワガラミ	1	
ツルデマリ	1	

〔R〕 No.7 (10m×10m)

高木層：ミズナラ	2	(1)
アズキナシ	2	(1)
クリ	2	(1)
ウワミズザクラ	2	(1)
クマシデ	2	(1)
亜高木層：リョウブ	1	(1)
イタヤカエデ	1	(1)
ツリバナ	1	(1)
低木層：クロモジ	2	(9)
イタヤメイゲツ	1	(4)
ツリバナ	1	(4)
ハイイヌガヤ	+	(4)
ミヤマガマヅミ	+	(2)
ツノハシバミ	+	(1)

コバノミツバツツジ	+	(1)
コマユミ	+	(1)
ヤナギイボタ	r	(2)
草本層：タンナサワフタギ	1	
ダンコウバイ	1	
ヤナギイボタ	+	(24)
イタヤカエデ	+	(20)
ハイアジサイ	+	(16)
ハイイヌツゲ	+	(15)
ハイイヌガヤ	+	(5)
ウゲイスカグラ	+	(2)
ウリノキ	r	(1)
エゴノキ	r	(1)
チュウゴクザサ	2	
アキチョウジ	+	
イタドリ	+	
トリアシショウマ	+	
チゴユリ・ヤマシャクヤク・サンイン		
スマレサイシン・アオイスミレ・クルマバソウ・サ		
ワハコベ・ヌカボシソウ…………… r		
クジャクシダ	+	
オシダ	+	
サカゲイノデ	+	
シシガシラ	+	
タニイヌワラビ・ジュウモンジシダ		
…………… r		
つる植物：ツタウルシ	+	
ツルデマリ	+	
イワガラミ	+	